

2018年7月18日

報道関係者各位

株式会社電算システム  
(東証第一部/名証第一部:3630)

## キッザニア東京の期間限定パビリオン「未来デザイン研究所」で実施の 『「AIレジ」の開発』で使用するシステム開発を受託

株式会社電算システム（本社：岐阜県岐阜市、代表取締役社長執行役員 COO：田中 靖哲、以下「電算システム」）は、KCJ GROUP 株式会社（本店：東京都千代田区、代表取締役社長兼 CEO：住谷 栄之資）が「キッザニア東京」（東京都江東区）に期間限定でオープンするパビリオン「未来デザイン研究所」の第2弾「AI レジの開発」（期間：8月13日（月）～31日（金））向けのシステム開発を受託致しました。

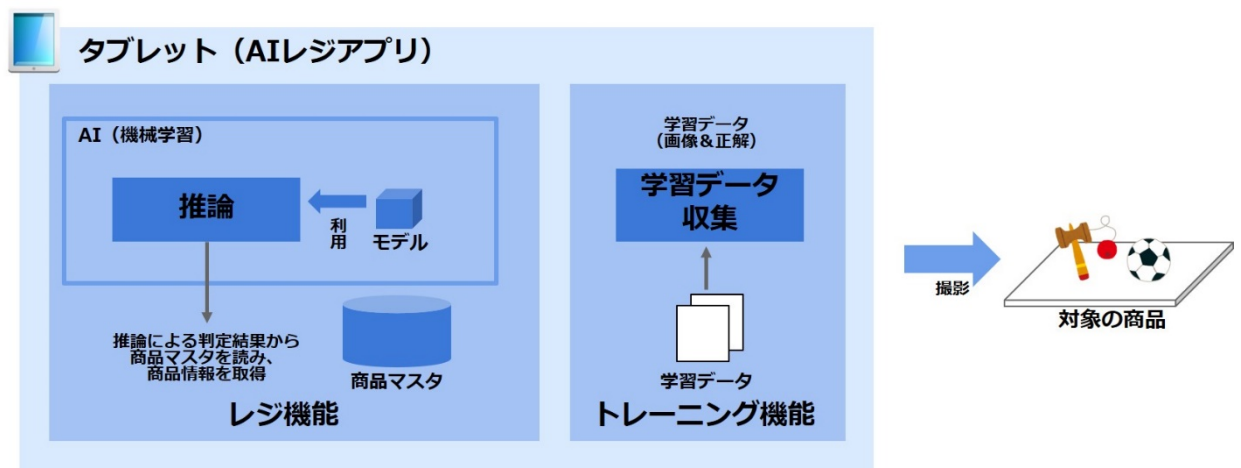
### 1. アクティビティ概要

「未来デザイン研究所」は未来のより良い生活のために研究をするパビリオンです。『「AI レジ」の開発』では、AI（機械学習）の技術を使ったシステムの開発を体験することができます。参加のこども達は機械学習モデルを構築し、一瞬で値段を計算できる AI レジの開発を体験します。

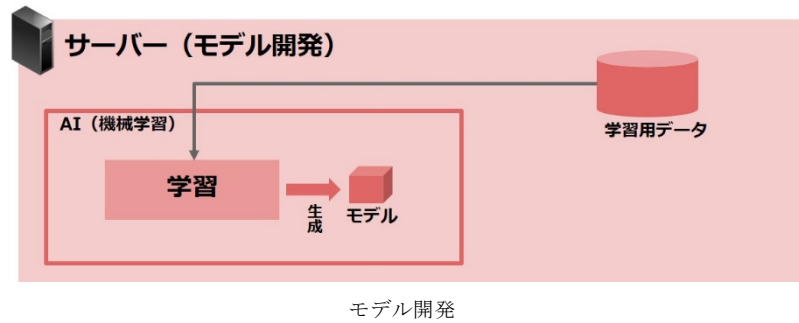
最初に商品を認識しない未完成な AI レジを体験してもらい、AI を学習させることの必要性を説明します。次にタブレットの専用アプリを使用して対象商品の写真を撮り学習データの作成と学習モデルの開発体験を行い、その後完成した AI レジを体験してもらいます。

開発体験を通して、AI により生活がどのように便利になるのかを学びます。

### 2. システム構成



AI レジアプリ



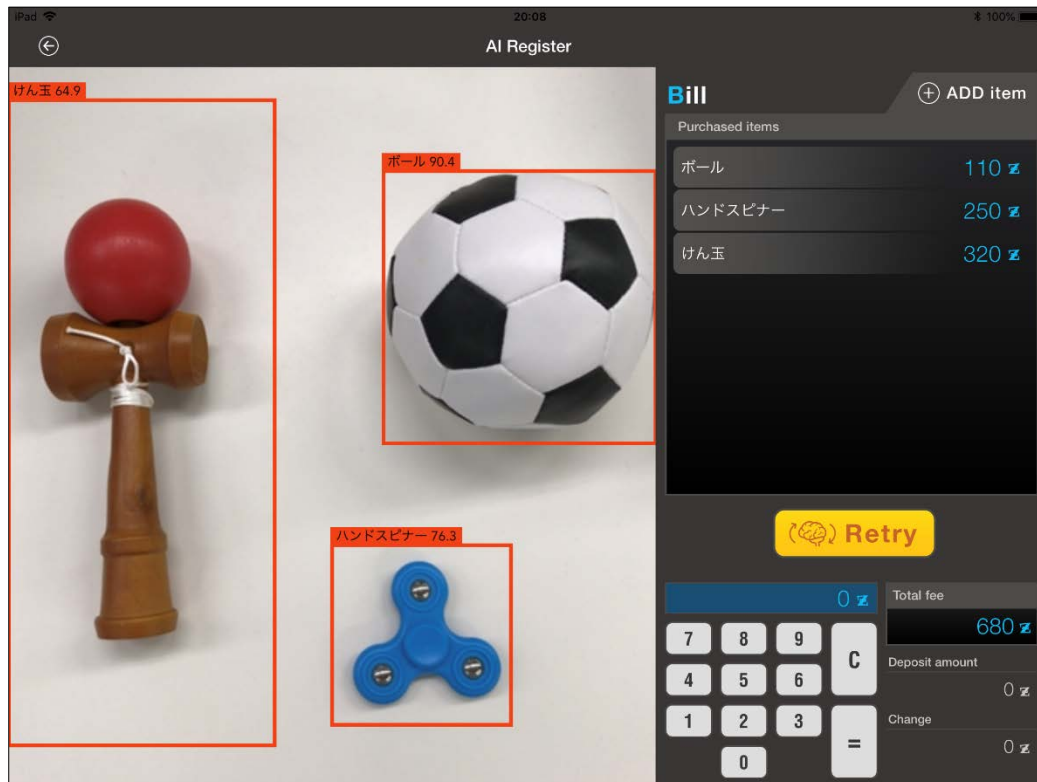
### 3. システム概要

#### AI レジアプリ

AI レジを体験できる「レジ機能」と、学習データの作成と学習を体験できる「トレーニング機能」を備えています。「レジ機能」では、学習モデルの推論結果に基づき、タブレットのカメラ映像から物体の検知&商品の認識を行い、金額の計算を行います。「トレーニング機能」では、タブレットならではの直感的な操作で、学習データとなる商品画像の撮影、写真内における商品の位置情報ファイルを作成します。

#### モデル開発

学習データをもとに学習モデルを作成して、タブレットで利用可能な形式へ変換します。



AI レジアプリ・レジ機能

**■電算システムについて**

電算システムは1967年（昭和42年）に岐阜県で創業し、独立系総合型情報処理サービス企業として、情報サービス事業と収納代行サービス事業を展開しております。

情報サービス事業はさらに、①ソフト開発とシステム環境の構築までを行うシステムインテグレーション②データ処理や各種帳票の発行の運用等を提供するビジネスプロセスアウトソーシング事業とデータセンター事業を行う情報処理サービス③アプリケーションソフトやシステム機器・サプライ用品の販売を行う商品販売の3つのサービスで構成されております。

収納代行サービス事業は、1997年（平成9年）に民間企業初のコンビニ収納代行サービスを開始してより、総合決済サービスプロバイダとして決済サービスと国内外の送金サービスを提供しております。

現在はデータセンターを中心にしたクラウドサービス事業を3つめの主要事業にすべく、積極的に取り組んでおります。

詳細については電算システムのホームページ（<http://www.densan-s.co.jp/>）をご覧ください。

**本リリースに関する問い合わせ先****<報道関係者様からのお問合せ先>**

株式会社電算システム

総務部 後藤

電話:058-279-3456

E-mail:kikaku@po.densan-s.co.jp

**<製品・サービスに関するお問合せ先>**

株式会社電算システム

IT開発本部

システムサービス事業部 平井

電話:052-961-3689